

学んで!作る!紫陽花の七変化!

～ 素敵なモチーフを作しましょう bel hortensia ～

04

富山市立堀川小学校 七澤 智香子

● 紫陽花の秘密

紫陽花と言えば6月から7月今年の梅雨の季節もみなさんのお家の庭やプランター、また公園で白、ピンク、紫、青と美しく咲くアジサイ(紫陽花)の花をみかけませんでしたか。お店で買ってきたときは、ピンク色だった花の色が紫に変わり、気が付くと青に変わっていたということはありませんか。お出かけ先ではどんな色の紫陽花の花を見かけましたか。雨の季節に見かける紫陽花の花ですが、9月に入りアンティークな紫陽花を見かけた人はいませんか。そんな、紫陽花の七変化(色変わり)のなぞと素晴らしさそして、美しさを楽しく学んで見つめてみましょう。

● 紫陽花の七変化～美しい色変わりの秘密～

紫陽花の花は何度も色が変わるのが特徴であり、その色変わりを楽しめることで人々に親しまれています。その色変わりの理由は、植えた土にあるようです。アジサイの花色の変化は、花に含まれるアントシアンと土に含まれるアルミニウムの化学反応によることが知られています。ピンク色のアジサイは、花の中にあるアントシアン(リンゴ、ブドウ、ブルーベリーなどの果物にも含まれている)という色素の色によります。しかし、アントシアンを持っていないと色が付かず白色の花になります。また土壌にアルミニウムがないと色の変化は起こりません。品種によってはもともと花色が変化しないものもあります。

紫陽花の花色は、アントシアン本来の色味であるピンク色が基本であり、土壌がアルカリ性だと土壌に含まれるアルミニウムは溶けにくく花色は変わらずピンクです。一方土壌が酸性に傾くと従い土壌に含まれるアルミニウムが溶けやすくなり、アントシアンと結合し、紫色を経て徐々に青色に変化していきます。アジサイ自体はアルミニウムを持っていないため、土壌から吸収するアルミニウムが全てです。土のアルミニウム含有量を増やすには、アルミニウムの化合物である



ミョウバンを薄めて与えます。酸性度を酸性にし、加えてアルミニウムの吸収を妨げるリン酸を少なくするとアルミニウムの吸収が増えるのでより美しい青色の花が咲いてくれます。もちろん水分も不可欠です。アジサイ本体のもつ特徴と土壌の科学的な性質で花の色が変わるアジサイ。みなさんもお好みの色の花を咲かせてみませんか。

※ミョウバンはホームセンターなどに売られています。薬品を使う場合は大人の人と一緒に取り組みましょう。

● 秋紫陽花～おしゃれな秋色の秘密～

秋色紫陽花というのは、じつは特定の品種名のものではありません。どんなアジサイを秋色アジサイと呼ぶのかについて、詳しく解説します。アジサイが秋色または、アンティークカラーになるまで長く咲いていられる理由は、花のつくりにあります。アジサイの花には装飾花と両性花の2種類があります。装飾花は一般にアジサイの花に見える部分で、花びらに見える部分は葉が変形した萼(がく)片と呼ばれる部分です。装飾花は種子をつけません。一方、両性花は花房の中心にある地味な小さな花で、種子は両性花にしかつきません。萼片は両性花が終わったあとも長く残り、老化現象によって萼片に含まれる色素が変化して色が変わっていきます。夏から秋になるにつれ、次第に本来の鮮やかな色から緑に変わり、さらにアンティークカラーへと変化します。また、秋色アジサイは自分で作ることができます。アジサイの花は自然に散ることがないので、剪定しなければ次第に花色が変わっていきます。ただし、美しいアンティークカラーになるには日照や水分量の調整が必要のため難しく、うまくいかずに枯れることもあります。花が咲いた後は、明るい日陰で強い風にさらされない場所で管理し、ゆっくり退色させる必要があります。

一般的なアジサイの品種をきれいな秋色にするのは、地域や環境により難しい場合もあるので、秋色アジサイ向けに改良された品種を育てるのも一つの方法です。



アンティークな花色が最大の特徴! さびた感じのシックな花色に どんどん変わっていくのが魅力です!



● 紫陽花の品種の紹介

・ ホンアジサイ

日本では一般的に「アジサイ」というと「ホンアジサイ」を指すほどメジャーな品種です。花の集まりは装飾花となっており、ボリュームがあって丸く立体的に咲くのが特徴です。

・ ガクアジサイ

日本原産のアジサイです。額のようにつぶつぶの小さな本来の花を囲んでいるガク咲きタイプのアジサイを、一般的にガクアジサイと呼んでいます。分類上では、装飾花が丸く集まったテマリ咲きのももガクアジサイに含まれます。

・ ヤマアジサイ

日本の本州以西に自生していました。葉が楕円形で薄く、山野草のような風情があります。日本自生の品種なので、日本の気候に合っていて育てやすいアジサイです。

・ カシワバアジサイ

葉の形が柏の葉に似ています。グリーンがかかったピラミッド型の花が咲き、見た目も一般的なアジサイとは異なります。一枚一枚が大人の手より大きな葉っぱが特賞です。

・ アナベル

北アメリカで発見されたアジサイがもとになっているためアメリカあじさいやアメリカノリノキとも呼ばれています。ピンクのアナベルが良く知られていますが、他に白色やライム色の花をつけるものも。開花期が長く剪定の時期を選ばない。ので、ヴィンテージカラーの秋色アジサイになるまで楽しめます。

・ ノリウツギ

ピラミッド型の花が咲き、花の時期は一般的なアジサイよりも少し遅くて7月頃になります。花が少なくなる夏の時期の庭を豪華に彩ってくれます。ノリウツギは新枝咲きのアジサイで、剪定の時期を選ばないので育てやすいのも魅力です。

・ ラグランジア

側芽にたくさんの花がさく、新しいタイプの紫陽花です。株全体が花で覆われるラグジュアリーな印象のハイドランジアで、無剪定でも楽しめます。葉が小さいため萎れにくいことも特徴です。

● 用意するもの

紫陽花の花(ヘップ) ウッドクリップ グルーガン お好みのパーツ(各種いろいろ) アロマオイル など

● 工作のしかた

① グルーガン等を用いて、ウッドクリップに紫陽花の花(ヘップ)を2個取り付ける。

★ グルーガンからは高熱の接着剤が出てきます。火傷しないように気を付けてご使用ください。

② ①にパーツを飾り付ける(好みの飾りをつける)。♡ロマオイルをかける(好みで用いる)♡

🌀 今回の工作は参考例のひとつです。皆さんのアイデアでオリジナルな作品を作ってみてください。



● もっとくわしく知るために

紫陽花のことをもっと学んでみませんか。本や図鑑、ホームページなどで調べてみてください。

